

製品名: アネキシン A1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85095**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 39 kDa; Observed MW: 39 kDa

抗原情報

遺伝子名	Annexin A1
別名	ANXA1; ANX1; LPC1; Annexin A1; Annexin I; Annexin-1; Calpactin II; Calpactin-2; Chromobindin-9; Lipocortin I; Phospholipase A2 inhibitory protein; p35
遺伝子 ID	301.0
SwissProt ID	P04083
免疫原	大腸菌で発現した精製された組み換えヒトアネキシン A1 ベータ タンパク質断片。

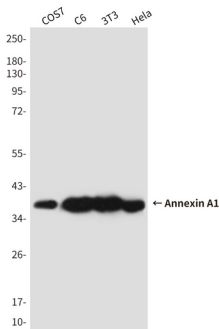
背景

自然免疫応答において、グルココルチコイドを介した反応のエフェクターおよび炎症プロセスの調節因子として重要な役割を果たします。抗炎症活性を有します (PubMed:8425544)。炎症反応の初期段階におけるグルココルチコイドを介したダウンレギュレーションに関与します。炎症の消散と創傷治癒を促進します (PubMed:25664854)。少なくとも部分的には、ホルミルペプチド受容体および下流のシグナル伝達カスケードを活性化することで機能します (PubMed:15187149、PubMed:25664854)。ホルミルペプチド受容体の活性化を介して、顆粒球および単球の走化性を促進します (PubMed:15187149)。T細胞の活性化によって引き起こされるシグナル伝達カスケードを強化することで適応免疫応答に寄与し、活性化T細胞の分化と増殖を制御します (PubMed:17008549)。T細胞のTh1細胞への分化を促進し、Th2細胞への分化を負に制御します (PubMed:17008549)。刺激を受けていないT細胞には影響を与えません (PubMed:17008549)。アクチン細胞骨格の再編成、細胞極性化、細胞移動を促進します (PubMed:15187149)。ホルミルペプチド受容体の活性化とアクチン細胞骨格の再編成を介して、ホルモンエキソサイトーシスを負に制御します (PubMed:19625660)。Ca²⁺に対する親和性が高く、最大8個のCa²⁺イオンを結合できます。リン脂質膜へのCa²⁺依存性結合を示す (PubMed:2532504、PubMed:8557678)。食細胞カップおよびファゴソームの形成に関与する。食細胞とアクチン細胞骨格間のCa²⁺依存性相互作用を媒介することにより、食作用に関与する。

研究分野

-

画像データ



Annexin A1 抗体を使用した COS7、C6、3T3、および HeLa 溶解物中の Annexin A1 のウェスタンブロット分析。